

平成25年12月1日

小松市史編纂事務局

へんさんだより



市史へんさん



今年も、早あと1ヶ月となりました。今年は何かと天候異変が多く、梯川の水位が危険値まで上がり、近くの住民の皆さんのが避難されて、小松が全国的にニュースで知れ渡るという事態にまでなりました。ゲリラ雨が何度も降り、竜巻騒ぎもあって不安な毎日でした。これからますます寒さが厳しくなり、風の流行る時期もありますので、皆様にはくれぐれもお気を付けになって、良いお年をお迎えください。



いよいよ公開!! 映画「武士の献立」



6月に開催された市史講座でも取り上げられた、話題の映画「武士の献立」が、いよいよ12月7日(土)に石川県で先行公開されます。加賀藩御料理人舟木家に嫁いだ料理上手の「春」が、剣の腕は立つのに、料理は大の苦手な夫「安信」とぶつかり合いながら、次第に心を通わせ、夫婦愛と家族の絆を深めていくストーリーです。キャストは春役に上戸彩さん、安信役に高良健吾さん、伝内役には西田敏行さんです。

映画では、舟木親子の残した献立書「料理無言抄」のレシピをもとに、江戸時代の武家や庶民が実際に食べていた料理を忠実に再現。珍しい食材から、今も変わらないお馴染みの食材まで海の幸、山の幸満載の美味しい献立がスクリーンいっぱいに広がります。中でも、藩の威信を賭け、男たちが厨房で作り出す料理の数々は、神事である包丁式に始まり、華麗な包丁使いも見応えたっぷりです。後世に語り継がれる伝統的な和食の魅力を堪能できる内容です。講座を思い出しながら、ぜひご覧ください。



ちょうどタイミングで、講座の講師であった綿抜豊昭氏が「包丁侍 舟木伝内 加賀百万石のお抱え料理人 (平凡社 2013.10.11)」を発刊されました。第1部「前田家の食卓を担った男たち」では舟木親子を紹介。第2部「加賀の大名料理を再現する」では、舟木伝内・安信親子が書き残した料理本をもとに、金沢の一流料亭が再現。四季折々に出される加賀料理が堪能できます。

料理に使われる器は九谷焼、加賀藩の家紋入りの豪華な重箱も使用されて、加賀の伝統文化にも触れられます。



皆さんもご存知の加賀料理をご紹介しましょう！

豆知識

料理編



- ☆ **治部煮**(じぶに)…小麦粉をまぶした鴨肉または鶏肉と、すだれ麩やしいたけ、芹等を醤油・みりん・砂糖・酒を加えた甘辛い汁で煮た料理で、最後にわさびを添える。
- ☆ **柚餅子**(ゆべし)…安信が残した料理本に、調理方法が記載される。ユズの中身をくり抜いて柚釜を作り、その中にユズの果肉、もち米粉などの粉、白味噌、砂糖等を混ぜて入れ、蒸したり乾かしたり、20~30回繰り返すため、長期保存ができる。
- ☆ **麩**(ふ)…低カロリー高タンパクな麩は、貴重なタンパク源で、仏教信仰が盛んな金沢周辺で精進料理の機会が増えたことにより浸透し、料理の食材に使われるようになった。金沢では、車麩・すだれ麩などが有名で、治部煮等に入れるすだれ麩は、伝内が創案したと謂われている。



映画で出されるお膳料理。左が本膳、右が与の膳。

今年度指定の2件の文化財
を前号に続いてご紹介します

しんほじんじゃしんぶつしゅうごうしおひん 新保神社神仏習合諸品（歴史資料）



木造仏像 6 体



鰐口

懸仏

狛犬 4 体

木造仏像 6 体, 木造狛犬 4 体, 懸仏 1 基,
鰐口 1 基からなる資料です。

各諸品の制作は、阿弥陀仏が室町末から江戸、他の5体は塗り替えましたが、作風から江戸、懸仏・鰐口は室町、狛犬は大が室町末、小が鎌倉から南北朝時代です。

神社のある新保村は、白山麓 18 か村の内大日川沿いにあった西谷 5 か村の一つで、白山信仰の根付いた地域です。上記諸品もそのもとで祀られ、古代以来の神と仏とを融合させた神仏習合の教義も取り入れられ自然な形で継承されています。

諸品は、明治維新後の廢仏毀釈（仏教の排斥運動）の時にも大切に保管され、地元信仰の根強さを示しています。

地域信仰の拠点であった新保に残る歴史文化遺産として、これら諸品は今後も護り伝えたいものです。



<事務局 11月の活動状況>

- 11月 4日(月) 「民家検勢図」調査(岡山北村家)
- 11月 5・12・19・26・28日 繊維・漁業関係調査
- 11月 11日(月) 民俗編DVD打合せ
- 11月 13日(水) 美術工芸部会
- 11月 13・14日 獅子頭他彫刻作品調査
- 11月 22日(金) 産業部会



<事務局 12月の活動予定>

- 12月 1日(日) 第59回市史講座
- 12月 5日(木) 近世村方部会
- 12月 13日(金) 漁業関係調査
- 12月 24・25日 国立公文書館資料調査

<12月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

は小松市史編纂事務局（図書館2階）が閉室しています。

市史編纂担当（小松市教育委員会生涯学習課）

- 住所 〒923-8650 小松市小馬出町 91
- TEL 0761(24)8274 FAX 0761(23)3563
- E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局（小松市立図書館2階）

- 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19
- TEL 0761(24)5315 FAX 0761(22)9763